

甲賀市の国際化に向けて

「国際化推進懇話会」を設立

甲賀市には多数の外国の方が住んでいます。

そしてそこには多数の文化、生活習慣があります。

市では、日本人であっても、外国人であっても、

生き生きと暮らし、活発な交流ができる

まちづくりとして、多くの人、文化、暮らしが

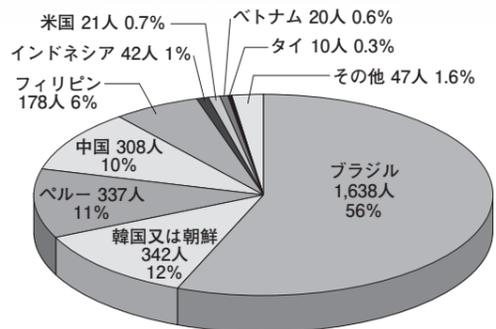
共生できるまちの実現に取り組んでいます。

甲賀市の現状

甲賀市には現在約3千人の外国の方がお住まいで、人口の約3%を占めており、ブラジル、ペルーなど、南米出身の方が約7割を占めています。

外国人の増加は、高度経済成長期に、製造業を中心に労働力

国籍別外国人登録人数



平成18年12月末時点 計2,943人

様々な課題

不足が深刻となり、平成2年の入国管理法改正により急激に外国人労働者を受け入れたことに起因しています。将来においても少子高齢化が進む中、外国人労働者が製造業を中心に就労している現状から今後も増加していくことが見込まれます。

国際化のため すべきこと

り、外国人市民も日本人市民も共にわかりあい、助け合いながら暮らしている地域づくりのための施策を講じていくことが求められています。

市では、海外四都市と姉妹都市提携を結び、中学生や一般市民が相互交流を行い、言葉や文化の違いを乗り越え、人間として互いにわかり合える関係づくりのためのさまざまな事業を行っています。

一方、甲賀市で生活されている外国の方が地域行事に参加されることはあまりなく、市民との交流の機会は多くないのが現状です。

市では世界のさまざまな国の多様な文化を持つ人が積極的に関わっていただき、お互いに関わり合うことで、真の国際化を可能にできるものと考えています。

当初、外国人の転入者は短期間で転出する「一時的滞在者」でしたが、全国的にも定住化が進んでおり、「一時的な滞在者」から「甲賀市で暮らす生活者」という存在となってきました。

こうしたことから、今年度より「国際化推進懇話会」を立ち上げ、外国人市民も日本人市民も一緒に甲賀市の国際化について考えていこうとワークショップなども交え活発な意見交換をしています。

「国際化推進懇話会」とは

外国人市民も日本人市民も共に理解し合い、助け合いながら暮らしていける、そんな真に国際化が進んだ甲賀市をつくるため、市では来年度に「国際化推進方針」を策定する予定です。このため、方針づくり

むけ、11名の方に国際化推進懇話会委員を委嘱しました。

懇話会では、外国人市民の方が実際どういったことで困っているのか、地域コミュニティ、教育、医療、労働などにおける実態をつかんだり、外国人市民への意識調査も実施して現状把握を進めていきます。また、外国人施策に関連する部署の職員で構成する「庁内国際化推進チーム」とも連携し、今年度中を目途に市の国際化推進に向けて提言をまとめていただく予定です。

懇話会ワークショップ

国際化は決して行政だけで進めていけるものではなく、市民や自治会、国際交流協会などの市民団体、NPOなど様々な主体が連携し、それぞれができること、やるべきことを明確にし、ながら進めていくことが重要です。外国人の方も支援を受けるばかりではなく、地域社会を構成する主体として、自分たち



ミシガン友好親善使節団との交流会

が自分たちをサポートするようになり組み等も必要でしょうし、皆が安心して暮らせる甲賀市を皆でつくっていくことが何よりも大切です。

国籍を越えて共に理解し合い暮らし続けるまちに

外国人も日本人も同じ甲賀市民です。地域社会を支えています。それぞれが違いを認め、まちづくりに参画していく環境を整える多文化共生のまちをめざします。

災害に備えて 防災訓練に外国の方も参加



柏木小学校で行われた消火訓練

9月2日(日)に実施された滋賀県合防災訓練では、外国の方14名にも参加してもらい、消火体験、地震体験、避難所での心のケア講習、応急処置講習といった体験型の訓練を受けていただきました。

ブラジルは地震がない国で、地震の多い日本で生活される上では日頃からいざという時の備えをしていただくことがとても大切です。

外国の方は言葉の問題もあり、非常に時に情報を入手するのが難しく、情報を伝える側にとってもこうした訓練を繰り返し行っていく必要があることを認識しました。